

災害に関する情報の入手

災害が発生したり、発生するおそれがある場合、緊急速報メール・広報車・テレビ・ラジオ・栗山町ホームページなどで、災害に関する情報を伝達します。正しい情報を入手し、落ち着いて行動するようにしましょう。

●全国瞬時警報システム《J-ALERT(ジェイ・アラート)》

弾道ミサイル情報、緊急地震速報、噴火警報等、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、緊急情報が消防庁から人工衛星を使って送信されるシステムです。警報が発表された場合は、周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

伝達される情報	●緊急地震速報 ●気象などの特別警報 ●弾道ミサイル情報 ●航空攻撃情報 ●ゲリラ・特殊部隊攻撃情報 ●大規模テロ情報 ●その他国民保護情報
---------	--

●緊急地震速報

地震による強い揺れを事前にお知らせするための地震動の警報・予報です。テレビ・ラジオ・携帯電話などで伝えられます。緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒しかありません。まわりの人にも声をかけながら、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

●防災情報

気象や川の情報など災害が心配される場合は、下記のサイトなどから現在の状況を把握することができます。

気象に関すること	気象庁 「天気(栗山町の防災情報)」		https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=0142900&pattern=forecast
河川に関すること	国土交通省 「川の防災情報」		【P C】 https://www.river.go.jp/ 【ス マ ホ】 https://www.river.go.jp/s/ 【携帯電話】 https://i.river.go.jp/
土砂災害に関すること	北海道防災ポータル		https://www.bousai-hokkaido.jp/?l=15-0%2C96-0&ll=43.58749799999999%2C142.74732300000002&z=7

栗山町防災情報メール及び公式SNSについて

栗山町では、栗山町に関する気象情報や避難情報など緊急のお知らせを、「栗山町防災情報メール」で配信しています。メールに登録することで、防災情報をメール受信できるようになります。

また、防災情報については「栗山町ホームページ」「X(旧 Twitter)」「facebook」を利用した情報配信も行っています。各二次元コードから登録・閲覧を行ってください。

栗山町防災情報メール配信サービス



- ① 左記の二次元コードを読み取り、空メール(題名・本文には何も書かず)を送信してください。
- ② システムから仮登録の通知メールが届きますので、指示に従って登録してください。
※迷惑メール設定をしている方は、メールを受け取れない場合があります。
kuriyama-town@raidens3.ktaiwork.jpからのメールを受信できるように許可設定してください。

ホームページ
「栗山町防災情報」



X(旧 Twitter)
「栗山町広報」

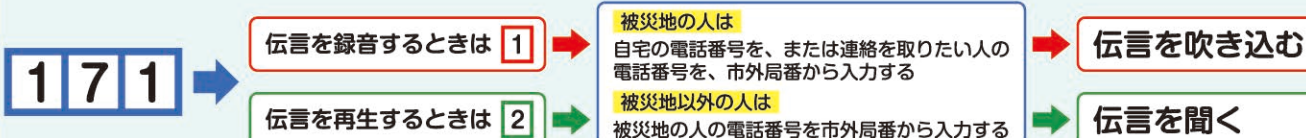


facebook
「くりやまほっとらいふ」



災害用伝言ダイヤル「171」

地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。



「非常持出品」・「備蓄品」チェックリスト

非常持出品 大地震や洪水が発生して避難するときに、最初に持ち出すべき物です。

☐ 貴重品 	☐ 懐中電灯 	☐ 携帯ラジオ 	☐ 予備電池・モバイルバッテリー 	☐ 飲料水 (1人1日3リットル目安)	☐ 非常食
☐ 衣類・下着類 	☐ 感染症対策用品 	☐ お薬・救急セット (お薬手帳も忘れずに!) 	☐ ティッシュ類 		

備蓄品 自宅で避難生活を送ったりする上で必要なものです。最低3日間(推奨は1週間)の準備をしておきましょう。

非常食品 ☐ お米 (レトルト・アルファ米も便利) ☐ 缶詰・レトルト食品 ☐ カップ麺 	飲料水 1人1日3リットル×3日分 ☐ ペットボトルや貯水した給水用ポリタンク 	燃料 ☐ 卓上コンロ ☐ ガスボンベ ☐ 固形燃料 	必要に応じて準備しましょう ☐ ビニール袋 ☐ 雨具・軍手・ロープ ☐ ラップフィルム・アルミホイル ☐ 生理用品・洗面用具 ☐ 粉ミルク・ほ乳びん・紙おむつ ☐ 大人用紙おむつ・携帯用トイレ ☐ メガネ
---	--	--	---

自主防災組織

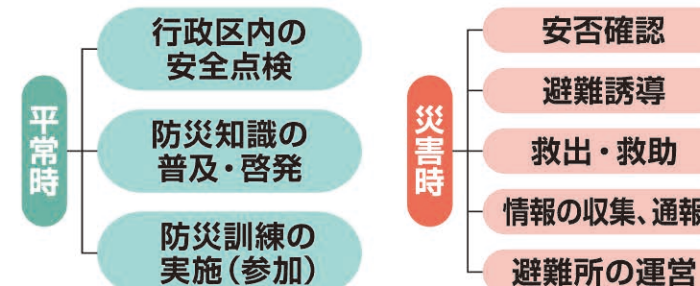
住民の皆さんが協力して自分たちの身を守る「共助」は特に大切です。一刻の予断も許さない時、隣近所の方と協力して、被害に遭った方を救助、救援することでお互いの身を守ることができます。そのためにも設立をおすすめします。

●自主防災組織とは

地域住民の方が連帯して防災活動を行う組織です。



●活動の内容



●組織するためには

- ・行政区ごと、あるいは行政区内の班単位など活動しやすい単位で協議しましょう。
- ・役場にご相談ください。設立までのお手伝いや活動についてお手伝いします。

要配慮者(避難行動要支援者)

「要配慮者」とは、高齢者や障がい者、乳幼児など災害時に特に配慮を必要とする方のことをいいます。また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方は「避難行動要支援者」として位置付けられています。避難行動や避難所生活などの様々な場面で助け合い、支え合いましょう。

介助が必要な方 複数人に対応する。車椅子や担架を使うほか、緊急時はおぶって移動する。	目や耳の不自由な方 音声や手話、メモなど、その人に伝わる方法で情報を伝える。	観光客、外国人の方 土地勘のない人を避難場所などへ誘導する。言葉が通じない場合は身振り手振りなどで伝える。	普段からの交流 災害時にスムーズな支援をするためには、日頃のコミュニケーションが大切。
--	--	---	---